

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2012. 10
No.230

『空洞化のウン』

「国内で生き残るために新興アジアへ」

最近、松島大輔氏の著作で学ばせていただいたことです。

海外での「現地化」で、本社・イナテックグループを変えようということです。

つまり「日本企業ゆでガエル論」です。日本企業における最大の課題は、「決断しない／できないマネジメント」であり、日本企業が中国や韓国に対しビジネスで後塵を拝する理由は、経営のスピード・決断の遅さにある。(NATO: Not Action, Talking only.)

ゆでガエル現象チェックポイント

□ 無変化が無難

□ 目標が低い

□ 今考えなくても・・・

□ 変化は未知の世界なので怖い

一度チェックしてみてください。

海外で現地化することによって、付加価値の高い分野に雇用を拡大することができます。日本に閉込めていれば、生産性の低い分野では、国際競争力が削がれます。日本国内では他社のシェアを取り合う激しい戦いを制していかなければ勝目はありません。

だから海外の情報や知識を獲得することにより新しい技術革新(ex 設備・治具コストハーフ等)のチャンスを得ることが出来るのです。

成長する「新興アジア」市場では、新しい情報や知識の獲得を通じて生産性向上に寄与し、新しい企業環境・生産環境がこれまでにない「気づき」や「学び」を得るのです。

つまり我々がめざすのは、海外進出による相乗効果により国内の技術水準を向上させることにあります。

そして技術水準だけでなく、日本国内における海外ビジネスを検討する企画立案、新規開発部門(ex 設備内製化による工機部門の

充実)の拡大です。

未知の海外に「現地化」することは、これに対応する人材が必要になります。しかもこうした経営の根幹に関わる部分、つまり企画立案部門でありエンジニアであり、付加価値の高い分野に雇用を拡大する事ができます。やはりプラス発想しながらグループの改革をし、イナテックグループを生き残らせたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

「確かなしくみ見える管理で」

お客様に貢献する」

このテーマはイナテックが進出している平湖の市内にある平湖東和汽車部件有限公司(日系企業の企業理念です。

この会社は、自動車の重要保安部品である「エアバック」を縫製している会社です。546名を日本人3名の方々と経営して見える設立10年目を迎えようとしている素晴らしい会社です。

エアバックの縫製ですので、女性社員が400名で、ミシンを使って、手作業の多い工程です。

しかし企業理念のごとく、管理は完璧と思える程しつかりしていました。

朝会のテーマとしては、

- ・教育訓練
- ・生産管理板
- ・日常管理(質・量・コスト)
- ・在庫管理(先入先出)

と女性班長、ライン長がしきる徹底ぶりです。

また台当り工数を算出するために、毎朝女性班長さんが、「人員数・出勤者数・欠勤者数・支援者・新人加入者・訓練人数・日本研修者・産休・退社」ときめ細かく管理してみえました。

そして、その他の定期的活動として

・赤札作戦（不用品数量明細票として残しています）

・4S点検管理板（班長相互点検）

・現場品質改善（小組活動板〈サークル活動〉）

（

・作業標準遵守点検（いじわるテスト）

・作業員（オペレーター）訓練評価表

・生産管理装置は電光盤で「予定」「実績」

「進度」（全員がわかるようにライン毎に

ついでにしました。）

・多能工計画表（生産力・保全力）

以上のような管理を定期的に、徹底的に実行してみえました。

我々イナテックもトヨタ様の系列でのご指導のもと、同じような管理をしているわけですが、平湖東和さんのように徹底できているか疑問な点もあります。

中国の人たちの管理レベルに負けないよう、もう一度頑張りましょう。